

平成31年度 当初予算要求事業内容説明書

2款 1項 15目

第2章 快適で、安全・安心なまちづくり

基本施策4 防犯・交通安全・市民相談の充実

施策3 安全な消費者生活を維持します

【会計】一般会計

2款:総務費 1項:総務管理費 15目:消費者行政推進費

事業	50	消費者問題啓発事業
担当所属	消費生活センター	

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,898千円	2,714千円		84千円		100千円

【事業の概要】

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・年6回の消費者大学は自ら被害にあわないか正しい消費者となる為の啓発事業です。 ・年2回の消費者セミナーは主旨は消費者大学と同じですが、消費者大学は平日開催の為若い世代がなかなか取り込めないため、土曜日開催として広く消費者への啓発を図ります。 ・消費生活展等を開催します。 ・消費者啓発リーフレット、啓発小冊子等を作成、配布します。
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活情報の提供と消費者教育を実施することにより契約トラブルなどの未然防止と拡大防止を図ります。 ・高齢者問題や環境問題など、その外延を広げつつある消費者問題において、消費生活の安定向上のため、自立した消費者として自立的且つ合理的な行動の取れる市民の育成を図ります。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・世代、性別に関わらずあらゆる人々に関係する消費者問題について被害の未然防止と拡大防止を図ります。 ・自主的且つ合理的な行動の取れる自立した消費者の育成を図ることで、環境問題等の取り組みにも寄与できます。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
8 報償費		
講師謝礼	280千円	講演会講師料(消費者大学6回分+セミナー2回分計8回)
9 旅費		
普通旅費	6千円	職員の出張に要する交通費
11 需用費		
消耗品費	456千円	消費者啓発用パンフレット・啓発小冊子「くらしの豆知識」・相談用書籍
食糧費	2千円	消費者大学・消費生活セミナーの実施に係る水代(8人分)
印刷製本費	661千円	啓発紙ゆたかな生活年2回発行(54,000部)・消費者啓発用パンフレット(2,000部)・消費啓発用パネル作成の印刷代
12 役務費		
通信費	10千円	消費者大学に係る郵便料
手数料	583千円	啓発紙ゆたかな生活年2回発行新聞折込代
13 委託料		
消費生活展事業委託料	900千円	消費生活展(1月開催)

計	2,898千円
---	---------

【活動指標・成果指標】

指標名	平成31年度計画値
消費生活セミナー開催回数	2回
消費者大学開催回数	6回
消費者生活展開催回数	1回
消費者啓発リーフレット作成部数	3,000部
啓発小冊子「くらしの豆知識」作成部数	1,000部
啓発広報紙「ゆたかな生活」作成部数年2回1回の部数	54,000部
消費生活セミナー参加者数	120人
消費者大学参加者数	480人
消費生活展参加者数	1,000人